

令和 7 年度哲文化創造一般財団法人事業計画

哲文化創造一般財団法人は、誰もが気軽に芸術及び生活文化に触れて楽しめるような事業を行い、人の交流と芸術文化の向上に努めることとしており、そのための施設として美術館を含めて人が集い憩える場を提供するテツ・アートプラザ（クヴェレ美術館、クヴェレホール及びカフェ）の運営と事業を実施していくことを目的としています。

令和 7 年度は、大宇根建築設計事務所の設計・工事監理のもと美術館、カフェ棟の新築及び旧三菱 UFJ 銀行棟の改修工事が本年 5 月末に竣工予定となっており、その工事に係る事務を引き続き担当してまいります。

また、本年秋の開館を目指して、クヴェレ美術館、クヴェレホール（コミュニティスペース）及びカフェの開館、運営に向けて準備を進めるとともに、美術館については開館記念展の開催、ホールについては施設の利用、貸出及びイベントの企画実施、カフェについては niko and ... COFFEE の運営を進めてまいります。

1 開館に向けた準備事務

(1) 施設全体の準備事務

ア 施設運営に必要となる体制等の整備

本年 6 月下旬に施設の引渡しが行われる予定であることから事務所を移転し、警備、清掃、施設の保守点検等の業務委託を進める。また、美術館のチケット発券及び図録・関連グッズの販売、情報発信のためのウェブ制作、ネットワーク関連等、施設運営に必要となるシステムの整備を進めるとともに、施設の広報物を製作する。

イ 施設運営の調度品の整備

美術館及びホールの備品等の選定、購入及び移動展示ケースの導入を進めるとともに、カフェの什器備品及び調理器具の選定、購入を行い、施設運営に必要な設備の状態に整備する。

(2) 美術館について

ア 開館記念展の準備と広報活動

開館記念展の展示内容を決定し、併せて三井倉庫に保管している工芸作品及び絵画を展示室及び収蔵庫に移送し、作品と施設の燻蒸を行い、展示作業を進める。

また、開館記念展に向けてポスター、チラシを製作し、関係機関、団体の協力を得ながら、周知するうえで効果的な場所への広報物の掲示、配賦を行い、SNS も活用して広報活動を展開する。

イ 図録及びオリジナルグッズの制作

主要な美術品の図録について、掲載する作品の選定、解説文の執筆などの原稿作成を完了し、所蔵作品図録を制作する。

また、美術館において販売するオリジナルグッズのデザイン、製作を行う。

ウ 美術館開館の主な準備事務・作業スケジュール予定

- | | |
|------------------------------|-------------|
| ①ポスター、チラシ及び図録のデザイン、製作 | 6月中旬納品 |
| ②オリジナルグッズの製作 | 8月下旬納品 |
| ③図録の制作 | 10月上旬納品 |
| ④三井倉庫からの美術品の移送並びに展示室及び収蔵庫の燻蒸 | 9月中旬～10月上旬 |
| ⑤開館記念展の展示設営 | 10月中旬～11月上旬 |

(3) クヴェレホールの貸切利用の検討

ホールの利用は人々の自由な利用を原則とするが、ホールの全体的な運営について基本的な考え方を整理し、芸術文化の振興、まちの活性化を目的とする施設であることを踏まえて貸切利用等の対象者、利用方法、貸出基準等を決定していく。

(4) カフェの開業に向けた準備

家具や調理器具の整備について niko and ... と協議しながら準備を進め、運営委託に関する契約をアダストリアと締結する。

2 テツ・アートプラザの開館

(1) 開館時期

本年11月下旬とし、開館式典を開催する。

(2) 内覧会の開催

開館日の2か月程前に、関係機関・団体、地域の方々及びメディアを対象に内覧会を開催する。

(3) 美術館開館記念展

ア 展覧会タイトル クヴェレ美術館開館記念展 “Meet 美の交差点”

イ 展覧会の内容

I 期 「近代日本画と東洋陶磁」 11 月下旬～2026 年 3 月下旬

【絵画】 2 階展示室

福田コレクションから茨城ゆかりの横山大観、菱田春草、木村武山、小川芋銭などの作品を含めた近代日本画の作品を展示する。

併せて、板谷波山などの工芸作品を展示する。

2 月上旬に作品の展示替えを行う。

【工芸】 1 階展示室

吉田コレクションから選び抜いた日本、中国の古陶磁を展示する。

<参考>

II 期 「日本近代洋画とシルクロードの精華」(仮)

2026 年 4 月上旬～9 月下旬

【絵画】 福田コレクションから中村彝、梅原龍三郎、藤田嗣治、坂本繁二郎などの作品を展示する。

7 月上旬に作品の展示替えを行う。

【工芸】 吉田コレクションから東西の文化交流や仏教伝播を物語るシルクロード関連の作品を中心に展示する。

(4) クヴェレホールの利用

クヴェレホールは、人々が自由に集い、歴史的な建造物の中でゆったりとくつろげるような落ち着いた雰囲気のある場とする。幼児向けの椅子・テーブルや図書、創作的な遊びができるような遊具も設置し、老若男女を問わず「人々が泉（クヴェレ）に集まるように」利用してもらえるような環境づくりを進める。

事業については、市民団体や学校との連携、協力を得ながら実施するとともに、状況に応じてその他の事業も検討していく。

<主催事業>

- ・アートワークショップ
- ・地域のサークル活動や子どもの発表の場（絵画展示など）
- ・講演会（美術、歴史文化など）

貸切利用について、施設の趣旨を踏まえ貸出基準に基づき、地域の団体などの要望に応えられるような活用を図る。

<貸切利用の事例>

- ・演奏会
- ・市民団体のサークル活動、学校のクラブ活動等
- ・ウェディング関連のパーティー、写真撮影

(5) niko and ... COFFEE の運営

niko and ... への委託によるカフェの運営を行う。

サービス内容については、niko and ... が提供する飲食物を基本とするが、当館独自のものも提供していく。また、飲食と併せて、LAKOLE の雑貨や加工食品も扱う。